

令和5年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会

事業報告目次

1	法人運営事業	(1)
2	地域福祉推進事業	(5)
3	市受託事業	(9)
4	県社協受託事業	(1 7)
5	共同募金配分事業	(1 7)
6	福祉金庫基金	(1 8)
7	介護保険訪問介護事業	(2 0)
8	介護保険通所介護事業	(2 3)
9	介護保険居宅介護支援事業	(2 4)
10	障害者サービス事業	(2 5)
11	地域支援事業	(2 5)

令和5年度 事業報告

事業の実施概要

令和5年度は、生活困窮者自立支援事業に係る相談や権利擁護に関する相談が増加してきていることより、地域住民のあらゆる地域生活課題を受け止め、問題解決を継続的に支援していくことができるような体制を構築するべく、新たに相談支援担当を設置しました。広報紙や福祉関係機関、関係者を通じて相談支援担当の浸透を図るとともに、支援にあたっては個別の相談支援だけでなく、地域福祉活動の充実を図ることも意識し、他部門や関係機関、地域との連携・協働を大切にした取り組みに努めました。

そして、5月には新型コロナウイルスが感染症法上5類に移行したこともあり、総合福祉センターを利用した福祉活動団体等の活動再開をはじめ、障害者社会参加促進事業や大つきふれあいスポーツフェスティバル、ふれあい福祉バザーの事業開催など、人とひとがつながりふれあう機会が増えました。

また、当会が運営する介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）においては、充実した介護サービスの提供など、市民の目線に立った介護サービスの提供に努めました。

1 法人運営事業

(1) 役員及び会議

①役員

令和5年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

令和5年度役員		退任者	
役員名	氏名	役員名	氏名
会長	白川 恵子	会長	和田 昌弘
副会長	小林 幹夫	副会長	小俣 一彦
〃	安藤 睦美	〃	小宮 文男
〃	白川 昌己	理事	飯島 貞夫
理事	米山 恭司	〃	蜂須賀 所明
〃	藤本 孝明	〃	小池 頼行
〃	藤本 兼三		
〃	畠山 哲		
〃	青柳 薫		
〃	小俣 理美		
〃	渡辺 芳江		
〃	小俣 民男		
〃	小俣 加代子		
〃	安藤 一洋		
監事	後藤 正巳	監事	山口 和義
〃	永岩 尊暢		

②会議

ア 理事会

開催年月日（出席者数）	会 議 内 容
令和5年 5月31日 （理事11名・監事2名）	① 会長の職務執行状況の報告 1 令和4年度大月市社会福祉協議会事業報告について 2 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 3 理事並びに監事候補者の選任案について 4 評議員候補者の推薦について 5 令和5年度大月市社会福祉協議会定時評議員会の招集について 6 令和5年第2回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
令和5年 6月23日 （理事12名・監事1名）	1 会長・副会長・常務理事の選定について 2 顧問の選任について 3 評議員選任・解任委員会委員の選任について
令和5年10月13日 （理事13名・監事1名）	1 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について 2 評議員候補者の推薦について 3 令和5年第4回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について 4 令和5年第3回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について
令和6年 1月31日 （理事12名・監事1名）	① 専決第1号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護事業所職員手当の支給基準等に関する要綱の制定について ② 各主要事業実施報告について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会法人後見事業の実施について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 4 社会福祉法人大月市社会福祉協議会中期経営計画策定委員会設置要綱の制定について 5 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について 6 令和6年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について
令和6年 3月22日 （理事9名・監事2名）	① 会長の職務執行状況の報告 ② 専決第2号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱の制定について ③ 専決第3号 社会福祉法人大月市社会福祉協議会法人後見等運営委員会要綱の制定について ④ 大月市児童館管理・運營業務受託について 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について 2 役員等賠償責任保険契約について 3 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号

	<p>(案) について</p> <p>4 令和6年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について</p> <p>5 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について</p> <p>6 令和6年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について</p>
--	---

イ 評議員会

開催年月日(出席者数)	会 議 内 容
令和5年 6月23日 (18名)	<p>1 令和4年度大月市社会福祉協議会事業報告について</p> <p>2 令和4年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について</p> <p>3 理事並びに監事の選任について</p>
令和5年10月20日 (22名)	<p>1 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について</p>
令和6年 2月 7日 (15名)	<p>① 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護事業所職員手当の支給基準等に関する要綱の制定について</p> <p>② 社会福祉法人大月市社会福祉協議会中期経営計画策定委員会設置要綱の制定について</p> <p>1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会法人後見事業の実施について</p> <p>2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について</p> <p>3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について</p> <p>4 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について</p>
令和6年 3月29日 (24名)	<p>① 大月市児童館管理・運營業務受託について</p> <p>1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会定款の一部変更について</p> <p>2 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について</p> <p>3 令和6年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について</p> <p>4 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について</p>

※ ○数字の内容は報告事項。

(2) その他

①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

年月日	氏名	金額(円)	物品の場合の品名
R5. 4. 27	山梨ことぶき勸学院35期	3,120	
R5. 5. 19	梁川町老連会第一クラブ	50,000	
R5. 5. 28	匿名	5,000	
R5. 5. 31	匿名	6,000	
R5. 6. 15	匿名	4,500	
R5. 6. 28	宮下文男	3,000	
R5. 9. 21	社会福祉チャリティーゴルフ大会実行委員会	324,832	
R5. 10. 26	匿名	10,000	
R5. 11. 20	紅富士太鼓	25,700	
R5. 11. 28	匿名	185,209	
R5. 12. 20	大月市ダンス愛好会	10,000	
R6. 1. 11	匿名	1,000	
R6. 2. 29	アフラック山梨県アソシエイツ会	100,000	
R6. 3. 29	匿名	5,000	
	合計(14件)	733,361	

(敬称略)

②苦情内容及び解決結果の公表について

令和5年度 0件

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動事業

①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

社会福祉に携わる方々と高齢者・障害者の方々などが一堂に会し、本大会を契機に新たな社会福祉の推進方策を探ることを目的に実施しました。

大会では、社会福祉の発展に功績のあった個人の方々を表彰し、感謝の意を表したほか、第2部では公立大学法人山梨県立大学人間福祉学部福祉コミュニティ学科准教授の高木寛之先生に『「みんなでつくるささえあいの福祉のまち大月」の実現にむけて』と題し、地域福祉活動計画とは何かお話していただくとともに、社協職員3名との公開協議を行い、第4次地域福祉活動計画の周知ならびに計画策定の際のアセスメントやそれをどう計画に反映させたかという協議を進めました。

- ・実施日 令和5年11月25日（土）
- ・場 所 大月市民会館 大ホール 参加者334名
- ・内 容 第一部 式典(社会福祉事業功労者への表彰)
第二部 講演・公開協議
「みんなでつくるささえあいの福祉のまち大月」の実現にむけて
～第4次地域福祉活動計画おおつき花さきプランを読む～
講師：公立大学法人山梨県立大学 人間福祉学部
福祉コミュニティ学科 准教授 高木寛之 氏

②各種団体助成事業

各種諸団体が行なう独自の福祉活動等に対し助成を行い、地域福祉の推進に努めました。

大月市障がい者福祉の会	70,000円
大月市ボランティア協議会	270,000円
大月市老人クラブ連合会（ゲートボール大会）	50,000円
地区社会福祉協議会（5地区）	255,000円

*助成金には、共同募金配分金も含まれています

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的としており、それらの方が地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行なうものです。

大月市社協は、基幹的社会福祉協議会として委託を受け（実施主体は山梨県社会福祉協議会）、専門員を設置し、利用者に対する具体的な相談、援助、監督を行い、利用者本人との契約締結により生活支援員が利用者の通帳他書類などを預かり、日常生活における金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻し、福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）の支援を行ないました。

また、大月市において実施した市民後見人養成講座や、令和5年度新たな試みとして

実施した市民生活支援員養成講座の受講修了者の8名の方に、市民生活支援員として活動をしていただいています。

令和5年度においては、認知症高齢者4名、知的障がい者7名、精神障がい者8名、計19名への支援を行ないました。

令和5年度 利用及び相談件数

対象	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
件数	132	363	343	2	840

ア 市民生活支援員養成講座

認知症や知的障がい、精神障がい等が理由で日常的な金銭管理や福祉サービスなどの利用を一人で行うことが心配な方や困っている方を地域で安心して暮らせるようにサポートしていただく、市民生活支援員を養成するための講座を開催しました。

- ・日時 令和5年9月19日（火）午前9時30分～12時
- ・場所 大月市総合福祉センター 3階 食堂
- ・内容 ①講義「日常生活自立支援事業と市民生活支援員の役割について」
②講義「精神・知的障がいの理解と対応について」
③講義「高齢者の理解と認知症高齢者の対応方法について」
④報告「市民生活支援員の活動について」
⑤訪問実習（講義日とは別に1時間程度の訪問実習を実施）
- ・参加者 6名のうち2名が市民生活支援員へ登録

④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。大月市内では、現在45サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、レクリエーションやお茶飲みを通じ、サロンや地域の課題把握に努めました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症感が5類へと移行され、これまでサロン活動を自粛してきたところも再開したことで活動が活発になってきています。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

・サロン登録数45箇所／社協職員派遣回数30回程度

地区名	サロン数	増減	登録者数
笹子	5	±0	84
初狩	0	±0	0
大月	7	±0	205
賑岡	4	-1	95
七保	9	+1	203
猿橋	8	-2	122

富 浜	5	+ 1	7 9
梁 川	5	± 0	7 4
その他	2	± 0	6 5
合 計	4 5	- 1	9 2 7

(2) ふれあい福祉推進事業

①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した社会福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的に、市民の協力を得ながら「ふれあい福祉バザー」を実施しました。

この収益金は、地区社協活動をはじめとする、地域福祉への理解を深め、より充実させるために活用させていただきました。

- ・実施日 令和5年12月3日（日）
- ・場 所 大月市民会館 3階
- ・バザー提供品数 6, 147点 売上金額 654, 000円
- ・協力人数 述べ116名程度

②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数 (3月末現在)	10	11	10	10	14	14	0	10	79
延べ対象者数	122	146	136	110	181	177	0	131	1,003

③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員がご家庭訪問し、子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木の手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

(令和5年度配布数)

地 区	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合 計
対象者数	0	2	12	1	2	8	1	0	26

(3) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介をしています。ボランティア団体等の活動支援や、ボランティア体験プログラムの実施、ボランティア

活動関係団体との連絡・調整、活動の普及、活動中の事故に備えてのボランティア活動保険加入促進等を行うことを通じて、活動を推進しています。また、学校や地域の様々な場面ですすめられる「福祉教育」の推進・支援をしています。

①ボランティアセンター活動事業

ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、ボランティア活動・ボランティア行事用保険加入相談・事故対応）

□ボランティア登録団体

- ・大月市ボランティア協議会・七保地区ボランティア協議会・猿橋地区ボランティア協議会・梁川地区ボランティア協議会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・おおつきお助け隊・絵手紙教室ボランティア・車いすレクダンス「矢車草」大月支部・童謡サークルわらべ・傾聴ボランティアつゆくさ・音訳ボランティア聲・手話奉仕員・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい・チームゆりヶ丘・Vおいわけ清流会・DPLS-JAPAN・観光ボランティア

□個人で登録活動しているボランティア会員225名

イ 広報・啓発事業

- ・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間4回行いました。

ウ ボランティアサークル等育成助成事業

- ・各種ボランティアサークルへの活動等に対し助成を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

点字サークル八重桜会	20,000円
手話サークル山百合	40,000円
車いすレクダンス協会大月支部	30,000円
音訳ボランティア聲	25,000円
傾聴ボランティアグループつゆくさの会	40,000円

エ ボランティア養成講座・研修の開催

講座名	回数	参加者
手話奉仕員養成講座入門・基礎課程（R5.4月～R6.3月）	40回	12名

オ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

学校名	内容
大月市立初狩小学校	米づくり、笹子初狩地域学習等
大月市立大月東小学校	地域の先輩からの学習等
大月市立七保小学校	福祉講話、地域住民との交流等
大月市立猿橋小学校	農業体験、福祉講話、いのちの学習等

大月市立鳥沢小学校	地域の方の講師による学習等
大月市立大月東中学校	大月探検、愛町作業等
大月市立猿橋中学校	愛橋作業、地域学習等
山梨県立やまびこ支援学校	地域との交流、奉仕活動等
フリースクールオンリーワン	地域との交流等
山梨県立都留高等学校	探究プロジェクト事業等
自然学園高等学校	地域行事協力、福祉体験、追分人形

- カ 福祉教材、体験用具の貸出及び福祉講話の講師派遣（高齢者疑似体験・視覚障害体験・点字練習器・アイマスク・録音図書、手話・点字指導など）
- キ ボランティア協議会事務局業務
- ク 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート
- ケ 収集ボランティア活動推進（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）
寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO法人エコキャップ推進協会、プルタブ・アルミ缶・ハガキ→ボランティアセンター、牛乳パック→就労支援事業所めばえ）
- コ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）

3 市受託事業

(1) 在宅介護支援センター運営事業

①地域支援事業

ア 介護予防・生活支援サポーター養成講座

介護予防・生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える活動、担い手側と支援を受ける側がお互いいつまでも元気に暮らすことができる社会を創ることを目的に4回実施しました。

講座日時及び内容等

日 時	参加人数	内 容 等
7月18日(火) 13:30~16:15	3名	①講義「介護予防について」 ②講義「認知症の方への対応方法について」 講師：地方独立行政法人大月市立中央病院 馬場 大介 氏 ③講義「ボランティア活動について」 講師：大月市社会福祉協議会
11月13日(月) 13:30~16:30	6名	
2月16日(金) 13:30~16:30	12名	
3月15日(金) 13:30~16:15	6名	

②包括的支援事業

ア 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター（大月市）を補完する形で地域における相談窓口機関として、

市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、介護や介護保険に関する相談が多く、一人暮らし高齢者等の増加から権利擁護に関する相談も増えてきています。このような相談に対し、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

相談内容及び件数

内 容	件数
介護に関する相談	37
介護保険に関する相談	10
権利擁護に関する相談	34
成年後見制度の活用	5
その他生活支援に関する相談	26
合 計	112

※合計112件のうち新規相談54件 継続相談58件

イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な主体が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

・地区組織活動推進委員会の開催

地区組織活動推進委員会を開催し、10地区の社協において、情報の共有を行いました。また地域の困りごとなどの情報交換を行ないました。

・就労的支援コーディネーター

高齢者の個性を生かしながら個人の特性や希望に合った活動をコーディネートして、高齢者の社会参加等を促進することを目的に実施しました。令和5年度はお助け隊の活動のマッチングや調査として、マッチングを42件、新規利用者調査を25件実施しました。

また、大月市で新たに始まった高齢者が介護保険施設等においてボランティア活動に参加することで、自身の介護予防につなげていただく「大月市介護予防いきいきボランティア活動支援事業」において、介護予防・生活支援サポーター養成講座を受講した方の内、3名の方が新規登録しました。

施設等のマッチングについては3施設26件、実施しました。

・小地域の高齢者ニーズの把握及び生活支援

地区社協の役員会等に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや日常生活の困りごと等を聞くことができました。

また住民の介護保険サービスや在宅福祉サービスで対応できない困りごとに対して、地域や各種団体等にて対応できるようにコーディネートしました。

③任意事業

ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

回数	期 日	場 所	参加者	内 容
1	4月11日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	オリエンテーション・情報交換会
2	5月9日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	老化と身体機能について
3	6月13日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	15	音楽健康セッション 第一興商 天野朋華氏
4	7月11日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	10	楽しくみんなで健康体操 鯨岡瑞希氏
5	8月8日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	災害に備えて (市防災担当)
6	9月12日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	薬と水分補給について (株)大塚製薬 中塚氏
7	10月10日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	10	健康体操・ボッチャゲーム
8	11月7日	猿橋町殿上 まいほーむさるはし	15	施設訪問 「まいほーむさるはし」
9	12月12日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	16	クリスマス会・交流会（老人大学民謡部）
10	令和6年 1月9日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	14	講義「介護保険福祉制度について」 地域福祉
11	2月13日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	17	レクリエーション・交流会「ボッチャゲーム」
12	3月12日	市総合福祉センター 6階 多目的ホール	19	1年間を振り返りと近況報告

④高齢者生活支援事業

ア 家族介護用品支給事業（寝たきり老人等オムツ支給事業）

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図りました。8種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様にご協力いただいています。

	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川	合計
年間延べ 配布数	31	16	86	48	57	11	43	27	319

イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、1回につき3,000円を上限に、一人当たり年3回を限度として実施しています。

登録者数	利用回数	助成金額合計
16名	30回	84,500円

ウ 車いす無料貸与事業（社協単独事業）（貸出期間は原則最長2週間）

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	7	3	9	11	12	9	9	12	14	6	5	8

合計 105件

(2) 高齢者生きがい活動推進事業

① ツキフェス23（大ツキふれあいスポーツフェスティバル23）

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等、年齢の違いや心身の状態の異なる市民が一同に集い、ふれあいを深める場として開催しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して実施しましたが、競技やレクリエーション等を行ない、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

- ・実施日 令和5年10月21日
- ・場 所 大月市民総合体育館
- ・参加者 263名

② 老人大学運営事業

心身ともに明朗で健康なシニア生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、高齢者福祉の増進に努めました。

- ・サークル数20部（学生238名）
- ①園芸部 20名 ②手芸部 12名 ③華道部 7名 ④書道部 12名
- ⑤詩吟部 15名 ⑥舞踊部 7名 ⑦大正琴部 7名 ⑧囲碁部 5名
- ⑨茶道部 8名 ⑩短歌部 6名 ⑪社会部 18名 ⑫ダンス部 23名
- ⑬料理部 8名 ⑭コーラス部 10名 ⑮カラオケ部 27名

⑯民謡部 8名 ⑰フラダンス部 11名 ⑱水墨画部 11名

⑲楽楽健康体操部 9名 ⑳ハンドメイド部 14名

・学生のニーズに対応し、本年度は2つのサークルを新設し、計20サークルで実施しました。

・全体学習 発表会や講演会など年間4回実施しました。

・年間行事 令和5年度第54期入学式と修了式と老大祭を市民会館で開催しました。また11月には老人大学秋の遠足を長野県方面へ日帰りにて実施しました。

(3) 障害者社会参加促進支援事業

①障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から、社会見学を実施しました。

令和5年6月4日 富士山清水みなとクルーズ他 参加者78名

②障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に開催しました。

令和5年8月27日 都留ファミリーボウル 参加者55名

③ボッチャ体験交流会（障がい者理解普及啓発活動事業）

障がい者への理解や障害者福祉に対する意識、啓発を図る観点から、ボッチャ体験交流会を実施しました。多くの市民への理解啓発活動となりました。

令和5年11月19日 やまびこ支援学校体育館 参加者67名

④障がい者クリスマスのつどい

普段、外出が困難な方など誰もが参加でき、会員同士のふれあいを深めることを目的にクリスマスのつどいを開催しました。

令和5年12月17日 大月市総合福祉センター 参加者79名

⑤社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年4回の交流会を実施しました。また、保護者の交流の場、意見交換の場として大月ネットワーク会議を開催しました。

令和5年5月21日 桂川ウェルネスパーク 参加者22名 「お気軽フィットネス」

令和5年9月24日 総合福祉センター 参加者25名 「お気軽フィットネス」
ネットワーク会議の開催

令和6年2月4日 総合福祉センター 参加者26名 「お気軽フィットネス」
ネットワーク会議の開催

⑥大月市障がい者福祉の会会報誌「おたより」発行
会報誌「おたより」を年に2回発行しました。

・その他、「富士ふれあいの村まつり」（9月9日）などにも参加しました。

（4）ふれあいのまちづくり事業

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくりを目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和5年度は、昨年引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行ないました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談支援に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート

社協職員の地区担当制の配置により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

・各種ボランティア講座及び研修会の開催を行いました。

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）の支援

・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度計画し、課題把握などに努めました。今年度は新型コロナウイルス感染症が5類へと移行され、これまで自粛をしていたサロンも活動を再開し、年間30回程度の訪問を実施しました。

また、サロン活動を始めたい地区があり、立ち上げに向けて助言等を行い、活動を少しずつ始めています。

・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

代表者を一堂に会して実施しました。今回は参加者を5つのグループに分け、それぞれのグループでサロンでの課題に足して「自分たちでできる取り組み」についてグループワークを行い、最後に全員で共有しました。

・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行ないました。（再掲）

・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

(5) 災害時要援護者登録制度事業

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。この台帳は、市との委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供させていただいています。

令和5年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

地区名	笹子	初狩	大月	賑岡	七保	猿橋	富浜	梁川
登録者	6名	1名	38名	8名	9名	14名	10名	13名

合計 99名

(6) 生活困窮者自立支援事業

大月市内に在住し、長引く不況や社会情勢などの原因により、生活を維持することが困難となった方に対して、就労支援や家計の見直し、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、各関係機関と連携を図りながら、相談者に寄り添い、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業を行ないました。

コロナ禍の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への総合支援資金の特例貸付申請について、本事業にて対応していましたが、特例貸付が令和4年9月末で終了となり、令和5年1月から特例貸付の償還が開始されました。

しかし、依然として生活が困窮している世帯には、引き続き支援を行うとともに関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を実施しました。

また、市民の皆様や関係団体の協力のもとフードドライブを実施し、538キロの食品等が集まり、支援を必要としている64名に食糧支援を行うことが出来ました。

今年度の相談支援件数等は次のとおりです。

①自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的、経済的に自立できるよう支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。

●相談支援者数20名（新規18名）

●年間延べ相談件数1,035件（うち、食糧支援件数64件）

②家計改善支援事業

家計に課題を抱える方からの相談に応じ、家計状況を明らかにしたうえで生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や助言、相談支援を行いました。

●延べ相談支援者数26名 ●年間延べ相談件数28件

③就労準備支援事業

一般就労が困難な方に対し、生活習慣の形成のための指導や助言、就労体験を行い、就労に必要な知識や技術の習得などの支援を実施した。

●延べ相談支援者数18名 ●年間延べ相談件数26件

(7) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和5年度は、295日を開館し、福祉団体の方々をはじめ多くの市民が利用されました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

施設名	室名等	利用回数(回)	利用人数(人)	備考
2階 児童母子福祉センター	子ども家庭総合支援センター	289	455	
	児童館	287	4,311	
	計		4,766	
3階 障害者福祉センター	栄養指導実習室外	320	3,134	会議室を含む。 研修室を含む
	マザーズルーム外	440	3,326	
	計		6,460	
4階 保健センター	保健運動指導室	167	2,249	
5階 老人福祉センター	和室(研修等)	35	716	
	浴室 (主に浴室利用者)		1,718	
	計		2,434	
6階 多目的ホール	大小会議室	278	5,940	
見学・行事		1	299	
合計			22,148	開館 295日

②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図ることや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

● 福祉自動車(軽自動車2台・ワゴン車1台) (単位:人)

利用目的	通院	買物・旅行	計
軽自動車2台利用数	141	1	142
ワゴン車1台利用数	1	5	6

合計 148人

4 県社協受託事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

また、令和2年3月から開始された新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの方々へ向けた緊急小口資金等の特例貸付が令和4年9月末で終了となり、令和5年1月から特例貸付の償還が開始されましたが、依然として生活困窮にある世帯からの償還免除や償還猶予の相談を受け、関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を実施しました。

令和5年度の相談件数は延べ30件で相談内容は次のとおりです。

相談内容	人数(人)
特例貸付の償還に関する相談	7
特例貸付の免除に関する相談	4
特例貸付の償還猶予に関する相談	2
資金制度や申請に関する問い合わせ	17

5 共同募金事業

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くするしくみ」として、お寄せいただいたご寄付を山梨県共同募金会にて取りまとめを行い、各種福祉活動（子ども、高齢者、障がい者などを支援する様々な活動）や災害時支援等に役立てられるよう、各市町村へ配分されております。大月市においても配分金にて地域福祉活動事業を実施しております。

(共同募金は今年度集めた募金を来年度に配分する仕組みとなっております。)

大月市内においての令和5年度の共同募金実績額及び募金配分事業は次のとおりです。

(1) 令和5年度赤い羽根共同募金（地区社会福祉協議会等からの募金実績状況）

令和5年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

地区名	金額(円)	地区名	金額(円)
笹子地区	228,000	瀬戸地区	209,000
初狩地区	400,500	猿橋地区	1,078,500
真木地区	342,323	富浜地区	726,000
大月地区	984,787	梁川地区	191,000
賑岡地区	656,150	事務局	376,572
七保地区	590,000	募金額合計	5,782,832

※各地区社協よりお願いした企業などの募金は大口募金として地区実績に含まれておりません。

(2) 令和5年度共同募金配分金実施事業

項目	事業名	金額(円)
地域社会福祉事業	・社協だより・ボランティアだより発行事業(年4回発行)	474,000
あったかサービス事業	・ふれあいいきいきサロン推進事業(45か所へ助成)	700,000
重点配分事業	・ファーストスプーン事業(新生児26名へ配布)	200,000
市町村社協地域福祉活動事業	・地元愛醸成プロジェクト協力校事業(11校へ助成)	600,000
地区社協等小地域福祉活動事業	・老人憩いの家整備事業(14地区整備) ・地区社協活動推進事業(5地区へ助成)	1,800,000
地域福祉活動団体推進事業	・ボランティアサークル等育成事業(6団体)	250,000
歳末たすけあい事業費	・障がい児者等への贈呈事業(障害者福祉施設2施設)	150,000
合計金額		4,174,000

6 福祉金庫基金

(1) 福祉金庫貸付事業

在宅高齢者福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行ないました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和5年度においては、相談件数は0件でした。

介護保険

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。）及び障害者居宅介護サービス事業の運営がなされており、各事業所の令和5年度実績は下記のとおりです。

(1) 事業所の実施状況

	事業所名と職員体制	実績内容
指定居宅サービス事業	(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 (ホームヘルパー資格) ・常勤 3名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 7名 計10名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護の利用者年間342人に対し、年間合計約3,830時間の介護を実施しました。 ・介護予防の利用者年間41人に対し、年間合計約186時間の介護を実施しました。 ・障害福祉サービス事業では、利用者年間56人に対し、年間合計約670時間の介護を実施しました。
	(2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者(兼務) 1名 ・生活相談員(兼務) 3名 ・看護職員 常勤 1名 (機能訓練指導員兼務) 非常勤 1名 ・介護職員 6名 常勤 6名 非常勤 0名 (うち運転兼務3名) ・機能訓練指導員 1名 ・送迎者運転手(非常勤) 4名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者ならびに要支援等(利用者)年間利用者延7,335人(月平均約611人、一日平均約28.7人)の受入れをしました。 営業日数は256日。 <p>※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む</p>
指定居宅介護支援事業	(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 5名 計 5名	<ul style="list-style-type: none"> ・要介護者年間合計1,680件のケアプランを作成しました(月平均約140人)。 ・ケアマネージャー一人当たり、1月あたり約28人を担当しました。

7 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護保険 延時間			合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		身体介護	生活援助	身体・生活 複合		
4月	23	137.1	41.0	102.0	280.1	12.2
5月	27	140.5	44.25	115.25	300.0	11.1
6月	25	130.4	41.0	150.75	322.15	12.9
7月	29	143.2	49.75	136.1	329.05	11.3
8月	29	161.2	51.5	138.1	350.8	12.1
9月	29	142.0	39.5	117.25	298.75	10.3
10月	31	197.0	60.0	157.0	414.0	13.4
11月	33	131.2	43.5	166.0	340.7	10.3
12月	30	134.7	43.4	149.25	327.35	10.9
1月	29	114.0	34.5	131.25	279.75	9.6
2月	29	101.7	32.5	146.25	280.45	9.7
3月	28	115.7	29.25	162.25	307.2	11.0
合計	342	1,648.7	510.15	1,671.45	3,830.3	11.2
1ヵ月平均	28.5	137.4	42.5	139.3	319.2	11.2
割合		43.1%	13.3%	43.6%	100%	

イ 介護予防分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	介護予防 延時間		合計時間	利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		予防 1	予防 2		
4月	3	8.0	8.0	16.0	5.3
5月	3	9.0	9.0	18.0	6.0
6月	3	7.0	9.0	16.0	5.3
7月	3	6.0	12.0	18.0	6.0
8月	3	10.0	13.0	23.0	7.7
9月	2	6.5	0	6.5	3.3
10月	2	9.0	0	9.0	4.5
11月	3	11.0	0	11.0	3.7
12月	3	11.0	0	11.0	3.7
1月	4	14.0	0	14.0	3.5
2月	6	20.0	0	20.0	3.3
3月	6	24.0	0	24.0	4.0
合計	41	135.5	51.0	186.5	4.5
1ヵ月平均	3.4	11.3	4.25	15.5	4.5
割合		72.7%	27.3%	100.00%	

ウ 障害者利用者分

(単位：利用時間)

月別	利用者数	延時間			利用者 一人当たり 月平均 利用時間
		障 害		合 計	
		身 体	家 事		
4月	5	10.5	46.5	57.0	11.4
5月	5	14.5	57.0	71.5	14.3
6月	5	11.0	57.0	68.0	13.6
7月	5	10.5	36.25	46.75	9.4
8月	4	10.0	41.5	51.5	12.9
9月	4	9.0	36.75	45.75	11.4
10月	4	9.0	43.25	52.25	13.1
11月	4	9.0	38.25	47.25	11.8
12月	5	8.0	44.5	52.5	10.5
1月	5	11.0	50.5	61.5	12.3
2月	5	10.5	48.5	59.0	11.8
3月	5	8.8	48.5	57.3	11.5
合 計	56	121.8	548.5	670.3	12.0
1ヵ月平均	4.7	10.2	45.7	55.9	12.0
割 合		18.2%	81.8%	100.0%	

8 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	利用者数 (対象者)	延利用 者数	介護度等別						営業 日数	1日 平均
			要支援 1・2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
4月	69	576	94	228	116	41	73	24	20	28.8
5月	75	666	101	257	136	61	76	35	23	29.0
6月	75	638	101	250	132	61	45	49	22	29.0
7月	73	578	100	221	118	61	45	33	21	27.5
8月	70	637	108	246	120	71	55	37	23	27.7
9月	69	604	68	251	120	77	54	34	21	28.8
10月	80	675	77	241	163	103	53	38	22	30.7
11月	77	685	70	254	154	118	52	37	22	31.1
12月	74	599	71	230	135	99	28	36	20	30.0
1月	74	549	74	206	122	97	22	28	20	27.5
2月	70	562	71	190	139	103	25	34	21	26.8
3月	70	566	77	198	138	109	24	20	21	27.0
合計	876	7,335	1,012	2,772	1,593	1,001	552	405	256	28.7
1ヵ月平均	73.0	611.3	84.3	231.0	132.8	83.4	46.0	33.8	21.3	28.7
割合		100.0%	13.8%	37.8%	21.7%	13.7%	7.5%	5.5%		

9 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

月別	要介護者数	介 護 度 別					
		予防	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	141	10	42	30	32	23	4
5月	143	10	45	31	30	24	3
6月	141	10	44	37	23	24	3
7月	142	10	44	38	23	24	3
8月	138	9	47	36	24	19	3
9月	137	10	47	33	24	20	3
10月	142	11	49	34	25	20	3
11月	145	11	51	35	24	21	3
12月	138	11	47	35	22	20	3
1月	140	11	47	39	21	20	2
2月	136	12	49	37	23	13	2
3月	137	13	48	40	20	14	2
合 計	1,680	128	560	425	291	242	34
月平均	140.0	10.7	46.7	35.4	24.2	20.2	2.8
割 合	100.0%	7.6%	33.4%	25.3%	17.3%	14.4%	2.0%

10 障害者サービス事業

(1) 地域生活支援事業

①移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。令和5年度は、登録者数1名に対し、延べ利用62日の支援をさせていただきました。

11 地域支援事業

(1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、福祉関係者等と連携を図り事業を実施しました。

①介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

ア パワーアップ教室

要支援認定者や介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもと、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行ないました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行ないました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

グループ	期 間	回数	利用者	男	女	延べ数
1	4月11日～9月30日	28回	4	2	2	73
2	10月5日～3月31日	28回	2	0	2	39
合 計		56回	6	2	4	112

②一般介護予防事業

ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
参加者	78	74	67	73	65	67	74	71	70	72	61	73	845

イ 集いどころ「スマイル」

住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とし、福祉センターを集いの場として、参加者の憩いの場、生きがいの場、生活の張合いの場になるよう、毎週火曜日、木曜日、金曜日に軽体操、趣味、作り物、レクリエーション、脳トレなどを実施しました。

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回数	12	12	15	12	12	9	12	9	12	12	12	9	138
実人数	43	43	42	41	41	37	43	35	42	39	41	45	492
延人数	115	104	133	103	97	73	110	71	110	103	104	81	1,204